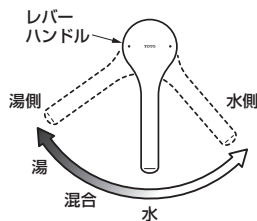


### シングルレバーカートリッジ

### THF59型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

#### 温度調節の仕方



#### レバーハンドルを回す。

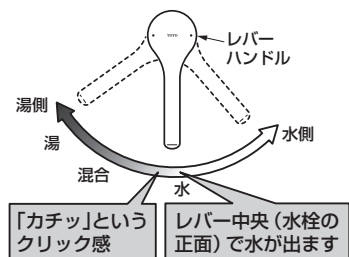
中央より右側に回すと水、左側へ回すと次第に温度が上がります。

#### エコシングル

本商品は「エコシングルカートリッジ」を搭載しています。よく使うレバー中央位置では水を吐水することで、気づかずに湯が出たり、給湯機が着火するのを防ぎます。(無駄なお湯やエネルギーを使わないための機能です)

お湯が必要な場合は、レバーハンドルを中央より左側に回してください。

水のみ位置、湯を使い始める位置をクリック感が教えてくれます。



## 1. 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けにいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

**注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**禁止** は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

**強制** は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

<b>注意</b>	カートリッジやクリックユニットは、絶対に分解しない特殊組立をしておりますので、破損します。	
<b>必ず実行</b>	カートリッジを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う。湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

## 2. 部品の確認

ねじ M4×14	止めねじ M5×6	
水栓の種類によってどちらかを使用します。		※カートリッジとパッキンは一体になっています。
		シングルレバーカートリッジ
カートリッジ押さえ	クリックユニット	パッキン ※外さないこと

## 3. 取り付け前に

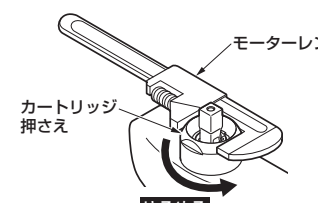
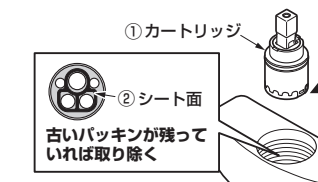
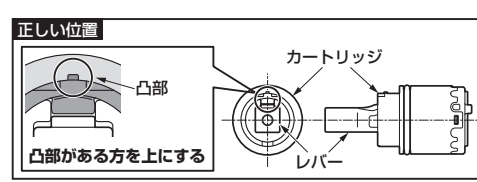
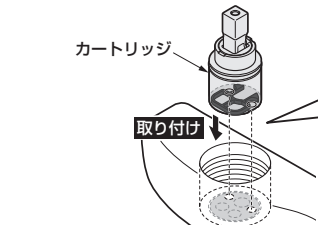
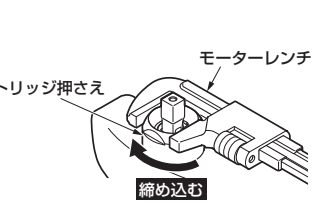
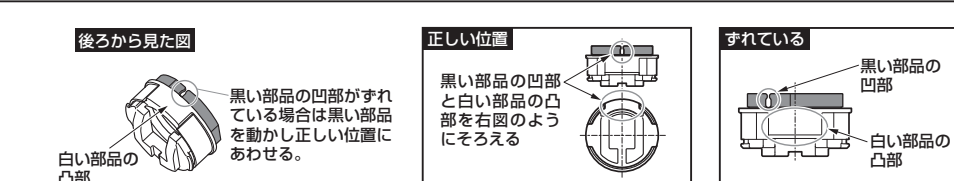
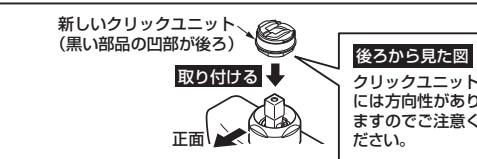
カートリッジの交換には次の工具が必要です。事前にご準備ください。

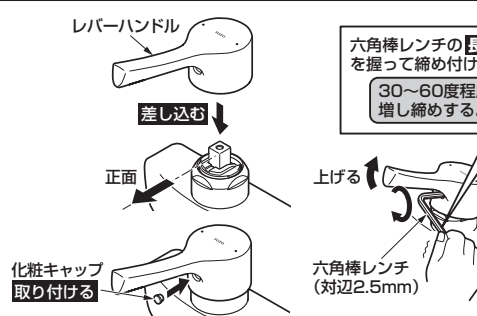
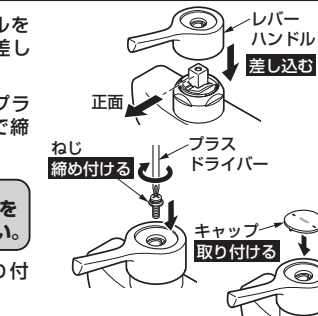
モーターレンチ	精密マイナスドライバー
プラスドライバー	六角棒レンチ (対辺3mm) (対辺2.5mm)

## 4-1. 取替方法 水栓の種類により、取替方法が異なりますので、ご注意ください。

対象品番	TKS05311型・TKS05314型・TKS05315型・TKS05316型・TKS05318型	TKS05312型
<b>1</b> 止水栓、または元栓を開める	湯側・水側の止水栓または元栓を確実に閉める。	
<b>2</b> レバーハンドルの取り外し	<p>①レバーハンドル正面の化粧キャップを精密マイナスドライバーで取り外す。</p> <p>②レバーハンドルを上げる。</p> <p>③化粧キャップを外した穴の奥にある止めねじを、六角棒レンチ(対辺2.5mm)で取り外す。</p> <p>④レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p>	<p>①精密マイナスドライバーなどでレバーハンドル上部のキャップを取り外す。(切り欠き部に引っかける)</p> <p>②ねじを六角棒レンチ(対辺3mm)またはプラスドライバーで取り外す。</p> <p>③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。</p>

対象品番	TKS05311型・TKS05312型・TKS05314型・TKS05315型・TKS05316型・TKS05318型	
<b>3</b> クリックユニットの取り外し	<p>クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。</p>	

<p><b>4</b> カートリッジ押さえの取り外し</p>	<p>モーターレンチでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。</p> <p><b>注意</b> モーターレンチは水平になるようにカートリッジ押さえの工具かかりにかけてください。</p>	 <p>モーターレンチ カートリッジ押さえ ゆるめる</p>
<p><b>5</b> カートリッジの取り外し</p>	<p>①カートリッジを取り外す。 ②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。</p> <p><b>注意</b> シート面を傷つけないようにしてください。</p>	 <p>①カートリッジ ②シート面 古いパッキンが残っていれば取り除く 取り外す 本体</p>
<p><b>6</b> 新しいカートリッジのレバーの位置あわせ</p>	<p>新しいカートリッジのレバーの位置を右図の正しい位置にあわせる。</p>	 <p>正しい位置 凸部 カートリッジ レバー 凸部がある方を上にする</p> <p>ずれている &lt;レバーの方向&gt; &lt;レバーの倒れ&gt; レバー</p> <p>倒れている場合はレバーを動かし、正しい位置にあわせる。</p>
<p><b>7</b> 新しいカートリッジの取り付け</p>	<p>新しいカートリッジ(パッキン付き)の下部の突起と本体の穴をあわせて取り付ける。</p>	 <p>カートリッジ 突起 本体 穴 取り付け</p>
<p><b>8</b> 新しいカートリッジ押さえの取り付け</p>	<p>モーターレンチで新しいカートリッジ押さえを確実に締め込む。</p> <p><b>注意</b> ●必ず新しいカートリッジ押さえを使用してください。 ●モーターレンチは水平になるようにカートリッジ押さえの工具かかりにかけてください。</p>	 <p>モーターレンチ カートリッジ押さえ 締め込む</p>
<p><b>9</b> 新しいクリックユニットの位置あわせ</p>	<p>新しいクリックユニットの黒い部品と白い部品の位置を右図の正しい位置にあわせる。</p> <p><b>注意</b> 必ず新しいクリックユニットを使用してください。</p>	 <p>後ろから見た図 黒い部品の凹部がずれている場合は黒い部品を動かし正しい位置にあわせる。 白い部品の凸部</p> <p>正しい位置 黒い部品の凹部と白い部品の凸部を右図のようにそろえる</p> <p>ずれている 黒い部品の凹部 白い部品の凸部</p>
<p><b>10</b> 新しいクリックユニットの取り付け</p>	<p>新しいクリックユニットを取り付ける。</p>	 <p>新しいクリックユニット(黒い部品の凹部が後ろ) 取り付ける 正面 後ろから見た図 クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。 凹部</p>

<p>対象品番</p>	<p>TKS05311型・TKS05314型・TKS05315型・TKS05316型・TKS05318型</p>	<p>TKS05312型</p>
<p><b>11</b> レバーハンドルの取り付け</p>	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。 ②レバーハンドルを上げる。 ③新しい止めねじを六角棒レンチ(対辺2.5mm)で締め付ける。 <b>注意</b> 必ず新しい止めねじを使用してください。 ④化粧キャップを取り付ける。</p>  <p>レバーハンドル 差し込む 正面 化粧キャップ 取り付ける 六角棒レンチ(対辺2.5mm) 上げる 六角棒レンチの長い方を握って締め付ける 30~60度程度増し締めする。</p>	<p>①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。 ②新しいねじをプラスドライバーで締め付ける。 <b>注意</b> 必ず新しいねじを使用してください。 ③キャップを取り付ける。</p>  <p>レバーハンドル 差し込む 正面 ねじ 締め付ける プラスドライバー キャップ 取り付ける</p>
<p><b>12</b> 動作確認</p>	<p>①必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか確認する。 ②湯側・水側の止水栓および元栓を開ける。 ③水漏れがないか確認する。 ④止水栓で流量調節をする。</p> <p>最適流量の目安 ※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量7ℓ/分(目盛りのついた計量カップなどで500mlが約4秒)になるように止水栓で調節してください。 吐水切り替えタイプの場合は切替部を回して一本吐水にしてください。 ※水圧が低い場合はレバーハンドルを全開にしても必要な流量が出ない場合があります。</p>	